

イパーブとは何ですか？また、どのように使うのですか？

イパーブとは、地球を周回する衛星に向けて遭難警報を発信するブイ式の装置です。

遭難時には必ずスイッチをONにして退船時には携行してください。（携行が困難な場合には、水中へ投下してください。）救命いかだ等へ移動した後は、イパーブの曳航索をいかだ等に結びつけ海面に浮かべてください。電池能力は充分（48時間、小型船舶用は24時間）にありますので救助されるまでスイッチは切らないでください。

なお、自動浮揚型のイパーブは、船が突然沈没したときにも自動浮揚し遭難警報を発信しますが、誤発射防止のため水深約4mまで沈まないとして動作しません。これはあくまでも遭難時に携行できない場合を想定したもので退船時にはできる限り携行してください。



レーダートランスポンダーとは何ですか？また、どのように使うのですか？

レーダートランスポンダーとは、捜索中に巡視船や航空機が発信するレーダー電波に反応して、自動的に応答電波を発信し、遭難者の位置を知らせる装置です。

救命いかだ等の中では、スイッチを入れて垂直にできる限り高く（水面から1m以上）保持してください。（レドーム部が天幕から外に出ないタイプのいかだも存在します。）電池能力は充分（96時間、小型船舶用は48時間）にありますので救助されるまでスイッチは切らないでください。

また、電波はレドームの横方向に送受信されますので、レドームの横には、障害物やレーダー反射器等を置かないでください。



双方向無線電話とは何ですか？また、どのように使うのですか？

遭難時に救命いかだ等に持ち込んで救助船等の船舶との間で通信するための小型携帯無線機です。

双方向無線電話は、通信可能距離と連続使用時間が比較的短い(送信時間、受信時間、待機時間の比が1:1:8の場合に8時間)ので、救助船等が接近してから、チャンネル16で使用してください。

